

第 11 回 国際土木委員会 議 事 概 要

1. 開催日時 : 2022 年 5 月 20 日 (金) 10:00~10:40
2. 場 所 : Web 会議形式
3. 出席者 : 別紙参照

4. 議事概要

(1) 委員長挨拶

(2) bSI バーチャルサミットの報告について

3 月 28 日から 4 月 1 日まで開催されたバーチャルサミットについて、下記の報告があった。

① 参加者について

全体の参加者は、833 名で日本からの参加者は 69 名であり、スイスの 72 名に次いで、2 番目に多かった。

② IFC4.3 の対応状況

線形、地質・地盤、橋梁、道路、港湾・水路、鉄道を対象を拡張した IFC4.3 が 2023 年の ISO 化に向けて ISO で審議中。

現在検討中の IFC トンネルは、IFC4.4 に含まれる。

IFC トンネルにおける地盤関連の検討では応用地質 (株) が積極的に参加をしている。

③ インフラルームの今後の取り組みについて

今後の取り組みとして、以下が挙げられた。

- ・ IFC Landscaping and Urban Planning

景観や都市計画 (建築分野との連携)

- ・ AM Handover b

維持管理 (資産管理) への引き渡し

- ・ Ports & Waterways Phase2

港湾・水路分野の対象領域 (海洋発電や海岸管理) の拡張

④ MVD (Model View Definition) の開発について

従来の MVD の開発は IFC の作成後に行っていたが、同時進行で進め、時間の短縮を図っている。

データを受け取った人がさらに変更し、利用して活用する Design Transfer View は、ソフトウェアの実装が難しく、bSI 内で議論がされている。

※MVD: データ連携において IFC をどのように活用するかを記述したドキュメント

⑤ 次回のサミット

- ・ 2022 年の 10 月 18 日から 28 日にカナダのモントリオールで開催を予定。

対面とバーチャルの併用で計画されている。